

# 企画 研修 部

# 試験研究の企画調整

山本伸一ほか企画研修部全員

## 【目的】

本県の水産業振興に資する試験研究を計画的・効果的に推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

## 【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

## 【22年度の実績】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
  - 1) 図書文献の収集整理  
当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎月2回程度）。
  - 2) ネット情報の収集整理  
随時、インターネット上にある試験研究関連情報等を整理し、研究員等に周知した。
  - 3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握  
漁業研修推進事業で実施した現地応用講座（移動水技センター）や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等からの試験研究に対するニーズの把握に努めた。
- 2 試験研究の総合的な企画調整
  - 1) 研究開発推進会議  
当センターの試験研究業務の適切かつ効果的な推進を図ることを目的に開催した。
    - ・日時：平成22年12月21日（火） 13:30～15:00
    - ・開催場所：県庁漁業調整委員会室
    - ・出席者：研究開発推進会議委員7名、当センター7名、県商工労働水産部3名
    - ・内容：平成22年度の試験研究及び平成23年度の試験研究計画について協議していただいた。
  - 2) 水産総合研究センターとの連携等
    - ・（独）水産総合研究センター主催のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び各部会（西海区ブロック、中央ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）への出席に出席した。
    - ・11課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 (独)水産総合研究センター主催の会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
11月11～12日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会，地域増養殖研究部会， 有明海・八代海研究部会	長崎市	担当部長
11月9～10日	栽培漁業関係研究開発推進特別部会 栽培漁業九州西ブロック会議	鹿児島市	担当職員
11月17～19日	水産利用関係研究開発推進会議及び利用加工技術 部会研究会（品質安全研究会・資源利用研究会）	横浜市	担当部長 担当職員
12月2～3日	中央ブロック水産業関係研究開発推進会議	横浜市	所 長
12月8～9日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	広島市	担当職員
12月14～15日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	福岡市	所 長

### 3) 他県との連携等

九州・山口ブロック水産試験場長会

場長会（2回）及び各分科会に出席した。なお，内水面分科会は，本県が担当県となり指宿市等で開催した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
5月25～26日	第1回場長会	那覇市	所 長
7月29日	磯焼け・藻場造成分科会	下関市	担当職員
9月9～10日	第2回場長会	熊本市	所 長
10月27～28日	漁業分科会	宮崎市	担当職員
10月27～28日	利用加工分科会	別府市	担当職員
10月27～28日	漁場環境分科会	別府市	担当職員
10月28～29日	魚病分科会	那覇市	担当職員
2月8～9日	内水面分科会	指宿市	所長，担当
2月1～2日	海面増殖分科会	熊本市	担当職員

### 他県との共同・連携研究

13課題について，共同研究や連携した研究に取り組んだ。

### 4) 大学との連携等

水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産研究交流セミナー」を開催した。

・日 時：平成22年6月11日（金） 15:00～17:00

- ・開催場所：水技センター講義室
- ・出席者：鹿児島大学水産学部18名，当センター26名
- ・内容：水技センターと水産学部間の共同・連携研究活動の紹介及び情報・意見交換

9大学，11課題について，共同研究や連携した研究に取り組んだ。

#### 5) 県工業技術センターとの連携

県工業技術センターとの連携を図るため交流会を開催した。

- ・日時：第1回)平成22年7月15日(木) 10:00～12:00  
第2回)平成22年10月28日(木) 13:00～16:00
- ・開催場所：第1回)工業技術センター  
第2回)水産技術開発センター
- ・出席者：第1回)工業技術センター：12名，水産技術開発センター：9名  
第2回)工業技術センター：7名，水産技術開発センター：6名
- ・内容：各センターの試験研究内容の紹介及び情報・意見交換

#### 6) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会，情報交換会等に参加し，所員へ伝達し，競争的資金の応募等を促進した。

表4 平成22年度に新たに採択された競争的資金

制 度 名	採 択 課 題
水産庁(企画競争) 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託 事業	赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 (新奇有害プランクトンによる漁業被害防止、 軽減に関する研究)
水産庁(企画競争) 持続的養殖生産供給推進事業 (低コスト飼料・効率的生産手法開発事業)	持続的養殖生産供給推進事業 (低コスト飼料・効率的生産手法開発事業)

### 3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理，評価等を行うため4月に進行管理，10月に中間進行管理を行うための所内会議を開催した。

また，各部ごとに業務検討会(4～5月開催)を開催した。

### 4 研究成果の広報・普及

#### 1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能(ホームページ等)を活用し，研究成果の広報・普及を図った。また，円滑な情報発信を行うため，サーバ及びネットワーク機器の更新を行った。

ホームページの掲載回数

「研究の動き」：29回，「新着情報(更新)」：154回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ研究成果の広報・普及を図った。(「漁業研修推進事業」参照)

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため機関誌「うしお」を4回(5, 8, 11, 2月)発行した。(発行部数: 250部/回)

4) 事業報告書の発行

平成21年度版事業報告書を9月にホームページに掲載した(20年度版から印刷製本休止)

5) 研究報告会の開催

研究成果の広報・普及を図るため研究報告会を開催した。

- ・期 日: 平成23年2月10日(木)
- ・場 所: かがしま県民交流センター大研修室第1及び中研修室第2
- ・内 容:

口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
春季ピンナガ漁場の予測手法	資源管理部 主任研究員 榊 純一郎
平成22年に発生したシャトネラ赤潮の状況と得られた知見	漁場環境部 研究専門員 西 広 海
短期蓄養によるサバの品質	安全食品部 研究専門員 保 聖 子
カンパチの種苗生産におけるアルテミア給餌時期が生残に及ぼす影響	種苗開発部 研究専門員 外 園 博 人

ポスタ - 発表

報 告 課 題	報 告 者
タコかご漁業におけるマダコ脱出試験	資源管理部 主任研究員 立石章治
標識放流再捕記録からみた鹿児島湾産ブリ 0-1歳魚の移動と成長	資源管理部 主任研究員 穴道弘敏
奄美における階段藻礁を用いた藻場造成	漁場環境部 研究専門員 吉 満 敏
鹿児島県におけるアユの生態	漁場環境部 主任研究員 久 保 満
ワクチン普及がもたらす県内主要感染症の変遷	安全食品部 主任研究員 柳 宗 悦
サバヒーの種苗生産	種苗開発部 主任研究員 今吉雄二
フナの種苗生産	種苗開発部 部 長 今村昭則

6) その他

表5 特許等の出願状況(H22.3.31現在)

種別	出願状況等	件数
特許権	出願中	0件
	審査請求中	1件
意匠権	登録済み	2件
計		3件

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

なお、実習を伴う研修として、平成22年7月21日から30日の間4名(コロンビア共和国)を海外からの研修生として受け入れた(JICAの研修)。

表6 研修視察等の受入実績

区分	受入団体数	受入人数
研修視察	49	503
海外研修生	7	99
インターンシップ	2	5
一般見学	43	1,216
合計	92	1,719

表7 研修視察等の受入実績の推移

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
受入人数	4,648	2,880	2,338	2,359	1,932	2,043	1,719

# 漁業情報提供事業

山本伸一，富安正藏，石田博文，西広海

## 【目的】

水産技術開発センターの試験研究の成果等を迅速に広報・普及するため，漁業情報システムの円滑な運用を図る。

## 【事業内容】

- 1 漁業情報システムの円滑な運用
- 2 漁業情報の迅速な提供

## 【22年度の実績】

- 1 漁業情報システムの円滑な運用  
漁業情報システムの保守業務については，民間の専門業者に委託して実施し，円滑な運用を図った。
- 2 漁業情報の迅速な提供  
人工衛星情報，フェリー情報，浮魚礁情報，赤潮情報等について，データを収集，解析，加工し，インターネット，電話（音声情報），FAXにより漁業者等に提供した。

表1 漁業情報システムで提供した主な情報

システム名	内 容	ネット	電 話	F A X	携帯電話
人工衛星	水温分布(画像)				
	水温分布(白黒)				
	加コイル(画像)				
フェリー なみのうえ クイコ-ル8 ニューこしき	水温・流向図				
	定点別水温				
	黒潮北縁域				
	海況速報図				
浮魚礁 (下甌沖)	水温				
	風向・風速				
漁海況	週報				
	長期予報				
	モジャコ情報				
	卵稚仔調査結果				

地理情報	海底地形図ほか				
漁船通信	漁場探索支援システム				
水揚・市況	水揚情報等				
赤 潮	地図でみる赤潮情報				
	赤潮調査結果				
	注意報・警報ほか				

浮魚礁についてはH22.8.15以降，浮体の流出によりデータ欠測

表2 漁業情報システムの利用件数の推移

媒 体		H 18	H 19	H 20	H 21	H 22
Webサイト訪問数		232,315	351,696	351,810	288,901	300,798
主なサイト (ベスト3)	人工衛星	206,420	308,936	472,152	558,572	430,949
	赤 潮	107,056	89,352	105,932	114,672	194,647
	フェリー	94,601	135,557	179,948	77,913	105,067
音声情報(浮魚礁)		3,844	1,062	1,654	1,564	526
F A X情報(衛星等)		443	176	128	239	108
システム利用合計		236,602	352,934	353,592	290,704	301,432



# 漁業研修推進事業

江夏竜郎ほか企画研修部全員

## 【目的】

漁業担い手の確保・育成を図るため、漁業者等を対象にして、漁業に関する知識や技術等の研修会を開催するなど、漁業研修を推進する。(水産振興課からの令達予算で事業を実施)

## 【事業内容及び22年度の実績】

### 1 小中学生・高校生研修

小中高校生を対象に、水産業に関する初歩的な知識や技術について認識を深めてもらうための研修を実施した。

実施校	実施場所	実施月日	日数	参加人数	研修内容
今和泉小学校	水技センター	4～2月	3	45	ワカメの養殖, 魚の加工(比`材塩干)体験
西指宿中学校	水技センター	7月7日	1	22	魚の加工体験(比`材燻製)
鹿児島水産高等学校	水技, 海運会社	12月9日	1	13	遠洋マグロ漁業, 海運業
	水技, 水族館	12月15日	1	11	種苗生産, 魚病, 生物飼育

### 2 漁業就業者研修

中核的漁業者の育成を図るため、漁業就業者を対象として、漁業に関する総合的、専門的な知識及び技術について研修を実施した。

コース	実施場所	実施月日	日数	参加人数	研修内容
潜水土講習	鹿児島市	8月19～20日	2	10	潜水土養成講習
漁船漁業コース	鹿児島市	6月11日	1	30	ヒジキ養殖技術
	鹿児島市	8月27日	1	10	経営改善支援制度
	いちき串木野市, 枕崎市	9月17～18日	2	30	新規就業者確保支援制度
	鹿児島市	3月10日	1	25	ヒジキ養殖技術

### 3 現地応用講座

地域の課題に対応した研修や、水産技術開発センターの成果報告を行った。

実施地区	実施月日	日数	参加人数	研修内容
奄美地区	11月12日	1	80	離島の観光漁業ほか
熊本地区	3月7日	1	30	藻場造成, キビナゴ等の資源管理

### 4 コンサルタント派遣事業

漁業生産の安定と漁村の活性化を図るため、県内外の知識人、学識経験者、熟練技術者等の専門家を各地域に派遣し、知識、技術の教育普及等を行った。

実施地区	実施月日	日数	参加人数	研修内容
垂水・鹿屋地区	8月27日	1	48	地域活性化ほか
奄美地区	5～2月	4	40	サメの有効利用(サメ燻製)

### 5 ザ・漁師塾

漁業への理解と就業を促進するため、ザ・漁師塾を実施した。(水産振興課と共同で実施)

区分	実施場所	実施日(期間)	日数	参加人数	研修内容	
入門研修	座学研修	鹿児島市	6月26日	1	38	漁業制度, 漁業の概要
	乗船研修	南さつま市	6月26日	1	38	定置網, 養殖業体験
短期実践研修	3カ所	随時(1週間)	7	3	一本釣漁業ほか2件	
実践研修(県漁連)	15件	随時(6月～1年)	-	15	研修生の希望する漁業	